

特集！地域活動委員会

住区住民会議は、地域や各種団体の皆様のご協力をいただき、私達の町を安心安全でより美しく住みやすくするために、日々活動を行っております。その中のひとつに、「地域活動委員会」があります。

委員会の活動には、主に3つの事業があります。

歩こう会

健康増進と参加者の親睦を深めることを目的に、年に3回、東京とその近郊の名所や旧跡など、季節にふさわしい場所を選んで訪ねます。ふだん何気なく通り過ぎてしまふところに、意外な歴史を見ることがあります。(27年度は三溪園、清澄庭園と相撲部屋めぐり、江戸たてもの園)。

リサイクルセール

ご家庭で不用になった品物を持ち寄りセールします。地域の方にも出店していただき、にぎやかに会話を楽しみながら過ごしています。その収益で車椅子を購入し、既に18台を目黒区社会福祉協議会に寄贈しています。

地域交流の会

料理教室を開き、エコプラザの方やプロの料理人のご指導で、古き良き時代のエコな料理を作つて、みんなで味わいます。また手作り野菜を使った料理を作ります。料理を作りながら、和気あいあ

い会話が弾み、親睦が深まります。

歌う会では、昔懐かし古き良き時代の歌を、みんなで大きな声で歌います。今回は、区内で活動されている「かっぱ会」の皆さんのご指導で、青春時代を思い起こしました。

野菜づくりでは、皆で土を作り、植木鉢にミニトマト・ナス・イチゴの苗を植え栽培しました。手作り野菜の味は格別です。今後は、ハーブ・お花も、作ってみました。



2014/06/01

行事はその都度、公営・町会・自治会の掲示板でお知らせしますので、奮ってご参加ください。また、当委員会では、常に是非参画をお願い致します。委員は負担の無いかかわり方で委員会活動をしていきますので、気軽にご参加ください。地域活動委員会 委員長 土屋 代四男

歩こう会

1月24日、今期3回目の歩こう会は前日までの雪の心配を吹き飛ばすような快晴の朝、参加者7人で自由が丘から渋谷谷経由で武蔵小金井までJR線で行きました。そこからバスで5分の、小金井公園へ。

広い公園の中の一面に「江戸東京たてもの園」があります。園内ではボランティアガイドを依頼して、東西に分かれて西ゾーンから説明を聞きながら進みました。



2016/01/24



2016/01/24

先ず三井八郎右衛門邸の外観を見上げ、中に入ると邸を支えている柱や梁の大きさに驚きました。

次に、目黒駅前にあつた前川國男邸を見学し、ここに使われている丸い柱が当時の電柱をリサイクルしたものと同じ大きさでくりしました。また、大正時代の田園調布の家はともおしゃれでかわいらしい家でした。

センターゾーンは、高橋是清邸です。2階の間が2・26事件の暗殺現場となった一室です。その後、伊達家の門を経て東ゾーンへ。このゾーンは「千と千尋の神隠し」のモデルになったと思われる子宝の湯、江戸時代の居酒屋、村上精華堂はイオニア式の柱を持つモダンな造りの化粧品店や、生花店、旅館等を見て解散しました。

地域交流の会

2月12日の午後、緑が丘文化会館別館の音楽室で、主に昭和40年代に流行した歌17曲を元気に歌いました。昨年は、ワイルドワンスの鳥塚しげきさんをお招きしました。今年はその時お手伝いして下さった方の協力を得て、目黒区社会教育登録団体である「かっぱ会音楽部」の6人の方々に、伴奏と司会進行をお願いしました。26人が参加してくださいました。

最初の曲は、「想い出の渚」、そして「上を向いて歩こう」「亜麻色の髪の乙女」「いい日旅立ち」と続き、「大きな古時計」「青春時代」も



2016/02/12



2016/02/12

カラオケでは上手に歌えないのに、この時はとても大きな声が出て、懐かしい日々を思い出し、あの頃もそして今も、ずっと青春なのだ...という気持ちでいっぱいになりました。

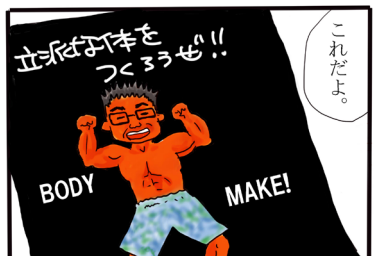
リサイクルセールは毎年2回、緑が丘文化会館で実施してきました。出店者は区内の方々と、20店を限度に申し込みを受け実施しています。毎回、約130人の来場者があり、皆様に喜ばれています。10時前から入口に並び、開場を待つほどの盛況ぶりです。来場者には入り口で番号札を渡し、途中「お楽しみ抽選会」を行い、当選者には粗品を差し上げ、賑やか

なひとときを楽しんでいただいています。地域活動委員会としても、委員、住民の方々から新品又は同等の品々を献品いただき、当日会場の一角でセールしています。次回は6月12日(日)です。地域活動委員会



2016/02/12

あした(も)にじゅうまるが



自由が丘住区住民会議 第38回 定時総会開催のお知らせ

日時 5月8日(日) 13:30より
場所 緑が丘文化会館 (本館) 第3研修室
議題 27年度活動報告 28年度活動計画と予算
問合せ 自由が丘住区センター (電話) 3718-1195

みやまえ桜まつり

日時 3月26日(土) 10:00～15:00 (雨天の場合、翌日)
会場 自由が丘住区センター 宮前分室および遊歩道沿い
内容 模擬店、宮前会展示、工作ランド、ミニデーPR
みやまえ桜まつり 実行委員会

自由が丘の住環境を考える会の活動をステップとして

自由が丘・緑が丘の特に第一種低層住居専用地域で、近隣の迷惑になるようなお店ができた、緑が減ったり、マンションやアパートが増えたりと、住まいの環境が変わりはじめています。「このままだとまちはどうなるのだろうか？これまでの良好な住環境を維持するためにどうしたらいいか？」という思いで、目黒区からコンサルタント派遣や資料・ニュースの印刷経費等の助成を受けて、緑が丘2丁目と自由が丘の有志で住環境の変化への対応について5年前から検討してきました。

地区計画などによる公的規制は都市計画法や建築基準法にもとづくもので、建物の形態や用途に関する規制が中心であり、住宅地における身近な迷惑行為の原因となる建物の利用状況やその変化に対しては有効に機能しない場合が多くあります。かつ公的規制の設定にあたっては、地権者など関係者の多数の同意を得ることが求められます。住民と住民・事業者などが相互理解を深め、迷惑行為が発生する原因を事前に排除し、迷惑行為が発生した際には近隣だけでなく地域全体の問題として対処することが重要です。そのため、自由が丘の住環境を考える会は、まず住環境を守るための基本となるルールをつくり、それをもとにして、対話・調整を担う地域の機関を、自由が丘町会、緑が丘西地区自治会、自由が丘住区住民会議、自由が丘商店街振興組合、街づくり会社ジェイ・スピリットなどと連携し、様々な方の参加と協力のもとに運営することが必要であるとの結論に達しました。建物や土地利用に関して



は建築基準法やその他の法律・条令に従うことはもちろんですが、左記のまちづくりルールを守るものが基本的な必要であると提案しています。これを皆さんに同意してもらい協力いただいて、実行することが当面の課題です。

自由が丘の住宅地域のまちづくりルール

- (1)現在の良好な住環境が持続するよう、発展するよう配慮してください。
- (2)建替えなどに際しては、近隣の日照時間の減少や展望の悪化などを抑え、緑の量を残すよう、できれば増やすような計画としてください。また、ドライエリアや地下室の設置のための掘削等で近隣が不安をもつ計画は、計画段階で近隣に十分に説明し理解を得てください。
- (3)新たに営業しようとする事業者等は、計画段階で近隣住民に説明し理解を得てください。(兼用住宅の非住宅部分の用途・営業時間、におい、音、搬出入の方法や時間、来店者のマナー、来店者の駐輪・駐車、夜間照明など)
- (4)近隣同士や地域とのコミュニケーションを図り、住民の安全・安心のために取り組んでいる町会・自治会へ加入してください。(ゴミ出しルール、目黒区などからの情報や地域行事などのお知



らせ、その他)
現在、上記の(2)に関してはジェイ・スピリットの自由が丘街並み形成委員会が対応しています。(3)に関しては自由が丘の住環境を考える会(自由が丘住環境委員会)が対応することになります。これまでに2件の案件は近隣の方々が対応されました。(4)に関しては自由が丘町会と緑が丘西地区自治会がそれぞれ取り組んでいます。

私のいま感じているまちの大きな課題は2つあります。その1は安全・安心の観点から歩行環境を良くすること、防災に強いまちにすることで。昨年12月に出た「東京における都市計画道路の整備方針(案)」(東京都・特別区・26市2町)では自由が丘駅周辺の都市計画道路のうち補助127号線(駅前のみずほ銀行横から北へ目黒通りまで)が優先整備路線に選定されました。この整備方針をまちとしてどのように活かすかです。その2は乳児から高校生ぐらまでの子育て家庭をまちに増やすことです。東京はもちろん目黒区内でも優良な教育環境にある緑ヶ丘小学校のこ

の4月の1年生は40人を切るといわれています。子ども同士と子どもを通しての親のつながり、家庭と学校と地域との連携は高齢者や障害者も住む地域の活力の維持と発展になくてはならないものです。そうした子育て世帯が住みやすいまちの条件の1つとして、若い世代に手ごろな賃料で、ある程度の広さがある住居(アパート・マンション・戸建など)が必要で、なんとかして、そうした住居を増やさないこと、この地域は一部の人たちに住みよいが、活気のないうちになる危険があります。こうした難しい課題に皆さんと一緒に取り組んでいきたいです。

もちつき大会

暖かかったお正月休みが明けた1月8日、宮前小学校では毎年恒例となった「もちつき大会」が行われました。「もちつき大会」は昭和41年に当時の6年生が授業でつくったお米を使っておもちをついたのが始まりで、以降形は少しずつ変わりましたが毎年引き継がれて、今年で49回目を迎える宮前小学校の看板行事です。体育館で開会式を終えた後、6年生から順番にスタートしました。白前で元気に挨拶を終えた子ども達も、目にしたのは、蒸し上がったばかりのもち米です。そのもち米を全員1口ずついただき、おもちになる前の姿を目と舌で確かめます。その後はいよいよもちつきです。1人ずつ交代で杵を持ち、全員で「よいしょ！」の声を掛け合いながら、高学年は力強く、低学年は精一杯の力でおもちをつきました。つきあがったおもちには、ランチルームでそれぞれが自分の分をちぎって、お醤油やきな粉で味付けをして自分のお



弁当箱へ詰めていきます。1年生にとっては、つきたて熱々のおもちをちぎるのは初めての経験です。手にたくさんおもちがくっついてしまう子もいますが、みんなとても楽しんで自分のおもちを作っていました。中学年、高学年になると、おもちのちぎりがとても上手です。自分の食べられる大きさを3つおもちを作り、味付けを済ませると「早く食べたいな！」と笑顔で教室へ戻る姿が見られました。各自で作ったおもちを教室へ持たせ、その後、毎年ご指導いただいている講師の石川圭一先生による書が披露されました。普段見ることのないような大きな半紙の前に、一文字ずつ丁寧に書かれる先生の姿を、子どもたちも集中して見つめていました。今年はお正月にふさわしい「賀新春」の文字と、6年生の課題の「夢の実現」の2つを書いてくださいました。

先生の実演のあとは、子どもたち自身が書く番です。石川先生のダイナミックで繊細な書を目の前で見せていただいた後なので、子どもたちも触発されたのか、一人一人真剣な表情でトメ、ハネに気をつけながら書きぞめに取り組んでいるのがとても印象的でした。

一・二年生の児童の中には、今回初めて毛筆を持った子もいて、手の平が真っ黒になりながらもとても楽しそうに書いて

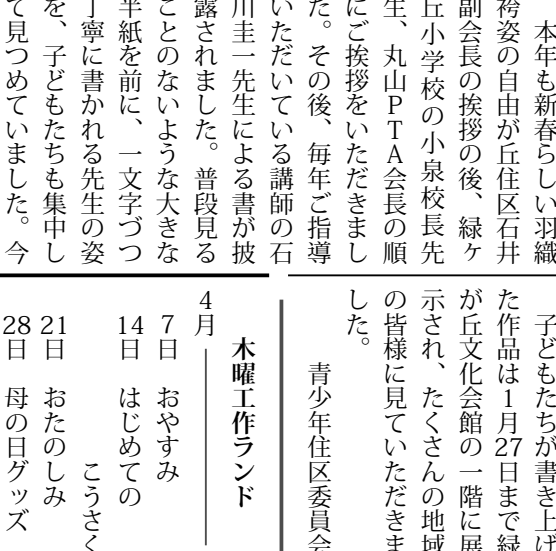
書きぞめ大会

1月7日、例年になく暖かい日和の中、青少年住区委員会主催の「書きぞめ大会」を緑ヶ丘小学校体育館にて開催しました。参加児童数は57人、先生方・保護者・地域の方々と大人を含めると総勢115人の参加でしました。

本年も新春らしい羽織袴姿の自由が丘住区石井副会長の挨拶の後、緑ヶ丘小学校の小泉校長先生、丸山PTA会長の順にご挨拶をいただきました。その後、毎年ご指導いただいている講師の石川圭一先生による書が披露されました。普段見ることのないような大きな半紙の前に、一文字ずつ丁寧に書かれる先生の姿を、子どもたちも集中して見つめていました。今年はお正月にふさわしい「賀新春」の文字と、6年生の課題の「夢の実現」の2つを書いてくださいました。

先生の実演のあとは、子どもたち自身が書く番です。石川先生のダイナミックで繊細な書を目の前で見せていただいた後なので、子どもたちも触発されたのか、一人一人真剣な表情でトメ、ハネに気をつけながら書きぞめに取り組んでいるのがとても印象的でした。

一・二年生の児童の中には、今回初めて毛筆を持った子もいて、手の平が真っ黒になりながらもとても楽しそうに書いて



木曜工作ランド

4月 7日 おやすみ

14日 はじめてのこうさく

21日 おたのしみ

28日 母の日グッズ

5月 5日 おやすみ

12日 おたのしみ

19日 びっくりカップ

26日 プラバン

※都合により予定が変わることがあります。

青少年住区委員会

春の防災訓練

- ・テーマ 「簡易間仕切りの設置訓練」
- ・日時 4月10日(日) 午前9時〜12時
- ・場所 自由ヶ丘学園 《小雨決行》
- ☆お子様 先着50名にミニ鉢植プレゼント!
- ☆消防士さんの顔出しパネルで写真撮影をしませんか?
- ・連絡先 自由が丘町会防災部 加藤 03(3717)5566



青少年住区委員会

発行 自由が丘住区住民会議
目黒区自由が丘 1-24-12
編集 広報委員会
電話 (3718)1195
メールアドレス jiyugaoka19@bz03.plala.or.jp